

彼方「あなた」

校長通信
H25.2.7
Vol.41

【教育ミニ集会「The 親業」開催】



大雪が心配されましたが幸運なことに降り積もることもなく、多くの保護者の方々や地域の皆さんにお集まりいただき教育ミニ集会と新入生保護者会を開催しました。

教育ミニ集会では、親業訓練協会シニアインストラクターの富澤優江（ゆうこ）先生をお招きして、『より良い親子関係づくり』という演題でご講演をいただきました。

富澤先生の熱のこもったお話しと思春期の子どもたちを抱える保護者の皆さん、地域の方々の真剣なまなざしで寒い体育館も熱気を感じるほどでした。講演会の内容も親子のコミュニケーションについて具体的な例を上げ、ロールプレイング（役割演技）を織り交ぜながらの参加型で、わかりやすく聞くことができました。あつという間の一時間余りでした。講演の後、「今までの子育ての振り返りができました」「耳の痛い話が多かったです」「本当に参考になりました」「今までつかえていたものがはつきりわかったような気がします」など様々な声が聞かれました。

した。家庭の中だけでなく、学校の中でも先生と生徒の間で交わされる言葉をもう一度振り返るよいきっかけになったように思います。

（講演会資料より）

○心が通う関係＝信頼関係

- ・日常生活の中で築いていきましょう！
- ・コミュニケーション能力を鍛えましょう！
- ・正確に聞く、分かり易く話す
- ・タイミングよくやりましょう！

○子どもが困ったときの避けたい聞き方

子どもが「学校に行きたくない！」と言ったときの避けたい十二の聞き方

- ・命令「行きなさい！行かなきゃダメ！」
- ・脅迫「学校行かないと高校受からないわよ」
- ・説教「学校に行かないと勉強は遅れるし…」
- ・提案「学校に行って、保健室で休んだら」
- ・講義「登校拒否は、気持ちの持ちようです…」
- ・非難「何考えてるの？そんなことを言うから…」
- ・同意「休みたいなら休めば、好きにしたら？」
- ・侮辱「あなた行って本当にバカじゃないの？」
- ・解釈「あなたが行きたくないのはくだから、…」
- ・同情「大丈夫よ！きっと何とかなるから」
- ・尋問「なぜ行きたくないの？どうして？」
- ・ごまかし「今日の給食メニューは？おいしいわよ」
- 子どもが困っているときに効果的な聞き方

- ・黙って聴く
- ・相づちを打つ（そう、へー、ふーん、ほう、なるほど）



きに相手を伸ばす話し方

- ・わたしメッセージ：自分を主語に「私は〜」
- ・子どもの行動を非難せず、自分への影響を具体的に、自分の感情を率直に話す。
- ・子どもの言い分を積極的に聞く

全部を自分の中に入れ込むには時間が短すぎた感がありますが、どう子どもと接すればよいか悩んでいた保護者の方には沢山のヒントが得られたのではないかと思います。

学校では子どもたちに「勉強がわからなかったら自分から『教えて』と言えるようにしましょう。聞かれたいら『いいよ』と言ってわかるまで教えよう！」と話しています。子育ても悩んだりわからなくなった話したら周りの人たちに『教えて』と相談できる関係があるといいのですが。来年度は何回かシリーズで子育ての悩みを共有する講座をお届けしたいと思います。その時は是非ご参加ください。